

## 「鶉野開拓記念碑」

### 兵庫県加西市鶉野町

兵庫県は、北は日本海、南は瀬戸内海に接し、中央には高い山々がある。戦後開拓地は瀬戸内海側に集中的に分布し、標高300m以下の地区が多いが、水利条件には恵まれなかった。県南部の加西市は、播磨平野のほぼ中央に位置し、西は姫路市、南は加古川市と接している。人口は約4万人。山林、農用地（田、畑）がそれぞれ総面積の約4割、約2割を占めている。同市には戦後、開拓農協が3組合設立された。

同市南部の鶉野町（旧・加西郡加西町）には戦時中、姫路海軍航空隊鶉野飛行場（以下「鶉野飛行場」）があった。1945（昭和20）年、緊急開拓事業により、県は鶉野飛行場跡の開拓を決定。同年より戦災者、海外引揚者、復員者ら約100戸が入植した。

48年9月、鶉野開拓農協を設立。飛行場建設時に地面を固めており、開墾が困難だった。入植者は開墾・営農に努めたが、土質は強酸性で有機質も乏しく、苦労が続いた。入植者は四散し、5年間で約50戸となった。

63年からの第2次振興対策（開拓営農新振興対策）に基づいて、酪農及び中小家畜を主体とした経営に取り組むことにより、営農も次第に安定してきた。だが、企業の工場進出の増加に伴い、第二種兼業農家（兼業所得の方が農業所得よりも多い）に変わっていく者も増えた。同開拓農協は72年2月に解散した。

鶉野中町公民館駐車場敷地内に開拓記念碑がある。03年7月、鶉野開拓記念碑建立委員会によって建てられた。碑銘は「鶉野開拓記念碑」（写真）。下部には、入植した組合員とその家族等46人の氏名が刻字されている。

裏面には組合の沿革や歴代組合長名などが記されている。碑文の末尾には「鶉野中町開村五十九年にあたり、先輩諸氏、及び組合員の家族の功績と努力を称えると共に地区のますますの発展と子孫繁栄を祈念しここに記念碑を建立する」と刻まれている。

周辺は平坦で、鶉野飛行場滑走路跡があるほか、家屋や工場が広い畑の中に点在している。

## 「鶉野開拓記念碑」

- ①調査日 2017年4月12日
- ②所在地 加西市鶉野町
- ③地区の沿革 海軍の航空隊基地が解放され、残留海軍部隊を中心とした農耕に従事する地元増反者の他、戦災者、引揚者及び復員者が昭和20年に集団入植する。入植者は当初約100戸に上ったが5年間で四散し約50戸となった。
- ④設置年月日 平成15年7月
- ⑤設置者 鶉野開拓記念碑建立委員会
- ⑥碑名 開拓記念碑
- ⑦碑文（表面） 鶉野開拓記念碑 鶉野開拓農業協同組合 46入植者氏名
- ⑧碑文（裏面） 沿革 元姫路海軍航空隊用地を開拓財産に所管換えを受け、昭和二十年より開拓事業として開田及び開畑の開墾を行ってきたのである。終戦と同時に残留海軍部隊を中心に農耕に従事する増反者、戦災者、海外引揚者及び復員者が逐次に入植する、昭和二十三年九月一日鶉野開拓農業協同組合を設立し、開拓に従事して営農に努めていた。
- 第二次振興対策事業に基づいて酪農及び中小家畜を主体とした経営に取り組むことにより営農もしだいに安定すると共に、組合の運営も良くなってきたが本地区に工場の進出が目立ってくるにしたがい第二種兼業農家が変わって行く者も増加してきたので開拓営農総合調整事業の指導の下で昭和四十七年二月二十九日鶉野開拓農業協同組合解散の認可を得て解散し、昭和五十二年六月九日鶉野開拓農業協同組合の精算を完了したのである。
- 鶉野中町開村五十九年にあたり、先輩諸氏、及び組合員の家族の功績と努力を称えんと共に地区のますますの発展と子孫繁栄を祈念しここに記念碑を建立する。 歴代7組合長氏名 5開拓組合精算人氏名 平成十五年七月吉日 鶉野開拓記念碑建立委員会
- ⑨現在の状況 鶉野中公会堂裏手駐車場で管理されている。

